

静岡県豚コレラ防疫対策会議

日時：令和元年10月18日(金) 午後7時から
場所：静岡県庁別館7階 第2会議室A

次 第

- 1 開会
- 2 挨拶
- 3 協議事項
 - (1) 野生イノシシにおける豚コレラ陽性事例について
 - (2) 本県の対応について
 - (3) その他
- 4 閉会

静岡県豚コレラ防疫対策会議 参集機関

区 分		機 関 名
1	国	関東農政局静岡県拠点
2	県	危機管理部危機政策課
3		くらし・環境部環境局自然保護課
4		健康福祉部生活衛生局衛生課
5		経済産業部農業局地域農業課
6		経済産業部農業局畜産振興課
7		賀茂農林事務所地域振興課
8		東部農林事務所地域振興課
9		富士農林事務所生産振興課
10		中部農林事務所地域振興課
11		志太榛原農林事務所地域振興課
12		中遠農林事務所地域振興課
13		西部農林事務所地域振興課
14		東部家畜保健衛生所
15		中部家畜保健衛生所
16		西部家畜保健衛生所
17		畜産技術研究所中小家畜研究センター
18		関係団体
19	(公社)静岡県畜産協会	
20	(一社)静岡県配合飼料価格安定基金協会	
21	(一社)静岡県猟友会	
22	静岡県農業協同組合中央会	
23	静岡県経済農業協同組合連合会	
24	静岡県農業共済組合連合会	
25	静岡県開拓農業協同組合連合会	
26	静岡県養豚協会	

1 野生イノシシにおける豚コレラ陽性事例

(1) 届出場所の概要

所在地：藤枝市岡部町野田沢（道路上）

状況：野生イノシシ1頭（死亡）

成獣（雌）体長120cm 体重60kg

(2) 届出経緯

10月17日（木）9時30分 一般市民から死亡イノシシ発見の通報

中部家畜保健衛生所家畜防疫員が死体を回収

10月17日（木）18時20分 遺伝子検査の結果、豚コレラウイルス遺伝子を検出

(3) 確定検査

10月18日（金）17時55分 豚コレラ陽性と確定

国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構 動物衛生研究部門 海外研究拠点で確定検査を実施し、豚コレラ陽性と確認された。

(4) 周辺農場

10km内（周辺区域） 0戸

2 野生イノシシ検査状況（平成30年9月18日～令和元年10月17日）

- ・ 死亡イノシシ 39頭（陽性1頭）
- ・ 捕獲イノシシ 302頭（全頭陰性）

3 本県の対応

<緊急対応>

(1) 豚飼養農場への注意喚起

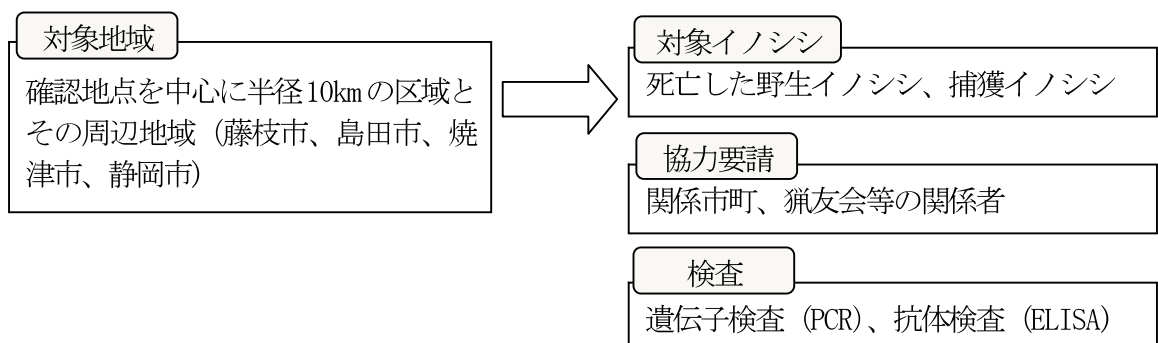
- ・ 死亡イノシシの確認地点から半径10km圏内には豚飼養農場がないことを確認した。
- ・ 県内の豚飼養農場全戸に異状がないことを確認した。

(2) 県豚コレラ防疫対策会議の開催

- ・ 日時 10月18日（金）午後7時から
- ・ 会場 静岡県庁別館7階第2会議室A

<野生イノシシの捕獲強化>

- (1) 確認地点を中心とした半径10km圏内の野生イノシシ群のウイルス浸潤状況確認
死亡イノシシの確認地点から半径10km圏内で捕獲された野生イノシシの検査を実施。



- (2) 確認地点を中心とした半径 10km 圏内の野生イノシシ群におけるウイルス拡散防止対策
- ・ 死亡した野生イノシシ、捕獲イノシシは確認場所に放置しない。
 - ・ 処理は、焼却又は埋却により適切に行うように、市町、猟友会等関係者に要請を行う。
(陽性確認から少なくとも 28 日間)
- (3) 野生イノシシの捕獲圧の強化
- ・ 防疫指針に定められている、確認地点を中心とした半径 10km 圏内に加えて、緊急の措置として、確認した地点の周辺から西方面にかけて、より広域に野生イノシシの捕獲を強化し、豚コレラ感染確認検査を実施していく。
- (4) 経口ワクチンの散布の検討
- ・ 散布エリアについて国と協議する。

<養豚農場の防疫対策の強化>

- (1) 養豚農場の一斉消毒の実施
- ・ 家畜伝染病予防法第 30 条に基づく知事命令により、全養豚農場の一斉消毒を実施する。消毒用の石灰は、県が全農場に配布する。
- (2) 農場の侵入防止柵設置の指導
- ・ ALIC アフリカ豚コレラ侵入防止緊急支援事業を活用して、農場周囲に野生イノシシ侵入防止柵を設置するよう指導する。
- (3) 飼養豚へのワクチン接種
- ・ 国が本県をワクチン接種推奨地域に設定した場合に備えて、ワクチン接種プログラムの作成に着手した。

3 その他の対策

- (1) 相談窓口の設置

相談内容	県庁	出先機関
家畜に関する事	畜産振興課	各家畜保健衛生所
食品の安全性に関する事 飼育動物に関する事	衛生課	各保健所
野生イノシシに関する事	—	—
家畜伝染病に関する事	畜産振興課	各家畜保健衛生所
農業被害に関する事（被害防除）	地域農業課	各農林事務所地域振興課 (富士農林事務所のみ生産振興課)
狩猟及び猟友会に関する事	自然保護課	各農林事務所森林整備課

【周辺農場】



確認地点から10km

【周辺農場】

10km内(周辺区域) 0戸 (豚0戸、いのしし0戸)

(c)OpenStreetMap contributors(<http://www.openstreetmap.org/copyright>)

豚コレラウイルスの遺伝子系統樹 (5'UTR領域： 150bp)

- 岐阜
 1例目 豚農場 (2018/8/24~9/8)
 2例目 豚農場 (11/15)
 3例目 豚農場 (12/4)
 4例目 イノシシ農場 (12/10)
 5例目 豚農場 (12/14)
 6例目 豚農場 (12/24)
 7例目 豚農場 (2019/1/28) と関連農場 (1/29)
 愛知1例目関連農場 (2/5)
 8例目 (10例目) 豚農場 (2/18)
 9例目 (11例目) 豚農場 (3/6)
 10例目 (12例目) 豚農場 (3/22)
 11例目 (17例目) 豚農場 (3/29)
 12例目 (18例目) 豚農場 (4/8)
 13例目 (20例目) 豚農場 (4/16)
 14例目 (24例目) 豚農場 (5/24)
 15例目 (25例目) 豚農場 (6/4)
 16例目 (27例目) 豚農場 (6/22)
 17例目 (29例目) 豚農場 (7/2)
 18例目 (31例目) 豚農場 (7/9)
 19例目 (33例目) 豚農場 (7/26)
 20例目 (38例目) 豚農場 (8/16)
 21例目 (40例目) 豚農場 (9/4)
 22例目 (45例目) 豚農場 (9/21)
 死亡・捕獲イノシシ (2018/9/13~2019/3/27)

- 愛知
 イノシシ (2018/12/19)
 1例目 (8例目) 豚農場 (2/4) とその関連農場 (2/5)
 2例目 (9例目) 豚農場 (2/12) とその関連農場 (2/14)
 3例目 (13例目) 豚農場 (3/26)
 4例目 (14例目) 豚農場 (3/27)
 5例目 (15例目) 豚農場 (3/28)
 6例目 (16例目) 豚農場 (3/28)
 7例目 (19例目) 豚農場 (4/9)
 8例目 (21例目) 豚農場 (4/20)
 9例目 (22例目) 豚農場 (4/21)
 10例目 (23例目) 豚農場 (5/16)
 11例目 (26例目) 豚農場 (6/11)
 12例目 (28例目) 豚農場 (6/28)
 13例目 (30例目) 豚農場 (7/7)
 14例目 (35例目) 豚農場 (8/8)
 15例目 (36例目) 豚農場 (8/8)
 16例目 (39例目) 豚農場 (8/30)

- 長野
 愛知1例目関連農場 (2/5)
 イノシシ (7/12)
 1例目 (42例目) 豚農場 (9/13)
 2例目 (44例目) 豚農場 (9/18)

- 大阪
 愛知1例目関連農場 (2/5)

- 三重
 イノシシ (6/25)
 1例目 (32例目) 豚農場 (7/22~23)

- 福井
 イノシシ (7/5)
 1例目 (34例目) 豚農場 (7/28)
 2例目 (37例目) 豚農場 (8/11)

- 富山
 イノシシ (7/27)

- 石川
 イノシシ (8/20)

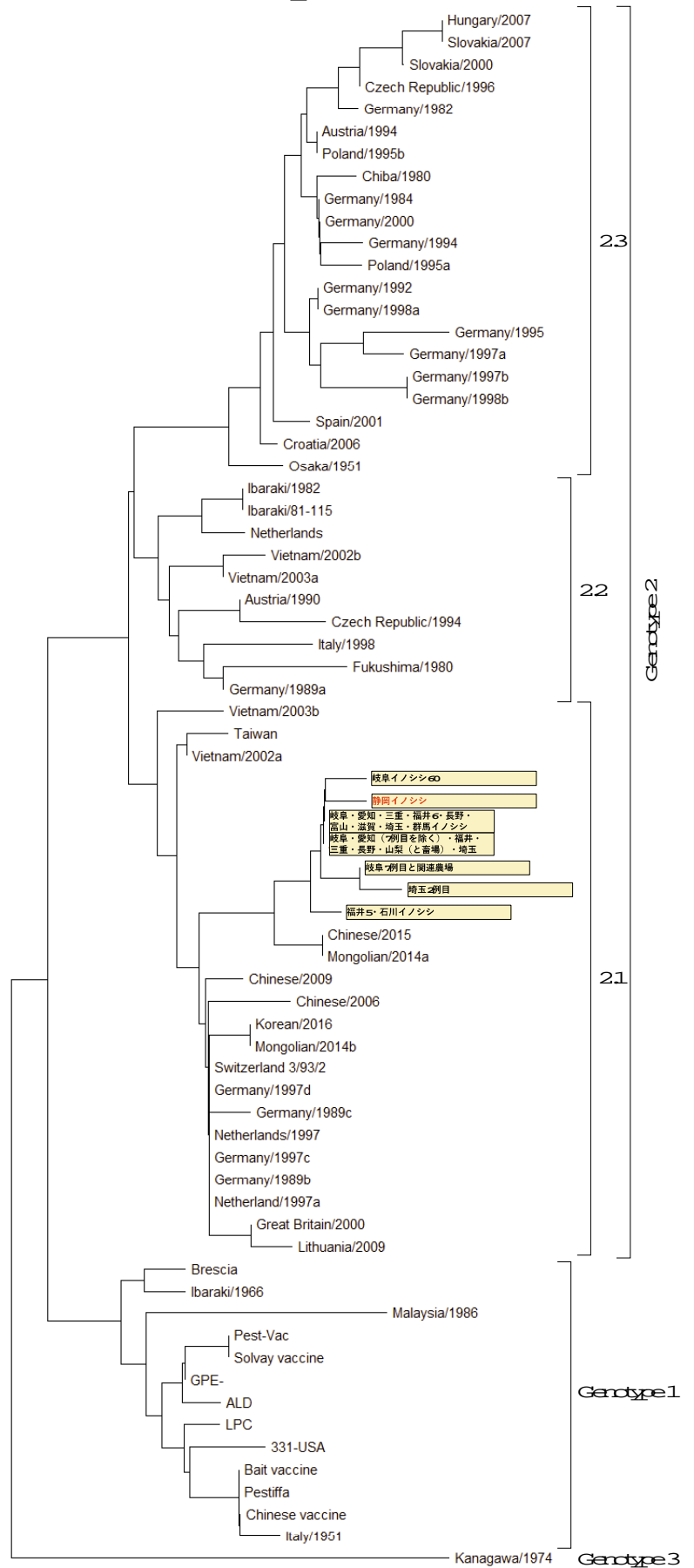
- 山梨
 1例目 (41例目) 豚：と畜場 (9/13)

- 埼玉
 1例目 (41例目) 豚農場 (9/13)
 2例目 (43例目) 豚農場 (9/17)
 イノシシ (9/20)
 3例目 (46例目) 豚農場 (10/10)

- 滋賀
 愛知1例目関連農場 (2/5)
 イノシシ (9/18)

- 群馬
 イノシシ (9/26 9/28)

- 静岡
 イノシシ (10/17) () は採材日



2019.10.18更新

岐阜7例目、岐阜イノシシNo60、福井イノシシNo56および静岡イノシシには、それぞれ異なる位置に1塩基の変異有。

埼玉2例目には2塩基の変異有 (うち1塩基は岐阜7例目と同位置、もう1塩基は上記とは異なる位置)。

石川イノシシは福井イノシシNo5と同位置に1塩基の変異有。他は同一である。

提供 農研機構 (国立研究開発法人
 農業・食品産業技術総合研究機構) 動物衛生研究部門

提供日 2019/10/18
タイトル 野生イノシシにおける豚コレラウイルス感染確認について
担当 経済産業部 農業局畜産振興課
連絡先 家畜衛生班
TEL 054-221-2709



野生イノシシにおける豚コレラウイルス感染確認について

県内で発見された死亡野生イノシシについて、県による遺伝子検査で陽性が疑われ、国の研究機関において豚コレラ確定検査を実施したところ、10月18日（金）、豚コレラウイルス陽性を確認しました。

1 概要

所在地：藤枝市岡部町野田沢（道路上）
状況：野生イノシシ1頭（死亡）
成獣（雌）体長120cm 体重60kg

2 経緯

- 令和元年10月17日9時30分、一般市民から死亡野生イノシシ発見の連絡を受け、中部家畜保健衛生所が死体を回収して検査材料を採取。
- 10月17日18時20分、中部家畜保健衛生所における遺伝子検査の結果、陽性の疑いを確認。
- 10月18日17時55分、国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構 動物衛生研究部門 海外研究拠点（東京都小平市）において遺伝子検査を実施し、陽性を確認。

3 県の対応

- (1) 当該死亡野生イノシシの発見場所から半径10km圏内には豚飼養農場がないことを確認した。
- (2) 県内の豚飼養農場全戸に異状がないことを確認した。
- (3) 当該死亡野生イノシシの発見場所から半径10km圏内で捕獲された野生イノシシの検査を実施する。

県民の皆様へ

豚コレラは、家畜伝染病予防法により特定家畜伝染病に指定される豚及びイノシシ特有のウイルス性疾病であり、人には感染しません。なお、コレラ菌を原因とする人のコレラとは関係ありません。
今後とも、迅速で正確な情報提供に努めますので、根拠のない噂などにより混乱することがないように、御協力をお願いします。

報道機関の皆様へ

現場での取材は、本病のまん延を引き起こすおそれもあること、発見現場近隣の方々のプライバシーを侵害しかねないことから、厳に慎むよう御協力をお願いします。

豚コレラの緊急対策

(農業局畜産振興課)

1 要 旨

これまで、既定予算の活用や6月補正予算により、消毒ポイントの継続設置や農場周囲へのワイヤーメッシュ柵設置等に取り組んできたが、7月に本県が国の豚コレラ対策の対象地域へ指定されたこと及び埼玉県等での豚コレラ発生に伴い、9月補正予算により野生イノシシの監視捕獲等の緊急対策を実施する。

2 概 要

(単位：千円)

区 分		内 容	既定予算	6月補正	9月補正	
発 生 前	消毒の徹底	車両消毒ポイントの設置 ・西部1箇所⇒4箇所(東部・中部地域追加)	16,000	20,000	追加要求 77,400	
		養豚農場への消毒方法指導	3,500	-	-	
		消毒指導事例集作成	-	-	既定予算対応	
	農場 対策	農場周囲へのワイヤーメッシュ柵設置費助成	13,000	34,000	*1 ALIC事業に移管	
		農場への動力噴霧器、防鳥ネット設置費助成 ・補助率1/2以内	-	-	26,066	
	野生 イノシシ 対策	捕獲 (監視)	生息密度低減のための捕獲強化 ・浜松市、湖西市(9月まで)：350頭	23,000	-	-
			捕獲イノシシ血液採取(浜松、湖西市2,280頭)	5,000	-	-
			豚コレラ監視のための捕獲 ・浜松市、湖西市(10月以降分)：600頭 ・上記以外(東部・中部地域)：1560頭	-	-	21,760 追加要求 55,340
		捕獲イノシシ血液採取 ・浜松市、湖西市を除く全県(300頭)	-	-	既定予算対応	
		経口 ワクチン	経口ワクチン協議会設置、ワクチン散布	-	-	*1 ALIC事業で実施
			経口ワクチン効果確認のための捕獲 対象区域：浜松市、湖西市20頭	-	-	400
	野生イノシシ専用の検査機器等の整備 ・9月補正：ELISA機器1台		3,850	-	1,912	
	検査試薬購入(PCR、ELISA)620頭分(浜松・湖西) " 1560頭分(上記以外)		-	-	1,543 追加要求 3,260	
	死亡 イノシシ	死亡イノシシの検体採材 ・委託先：県獣医師会	-	-	619	
	検査体制強化	出荷用子豚の豚コレラ抗体検査	300	400	-	
	中小家畜研究 センター防疫強化	専門業者によるネズミの駆除(年2回)	4,000	-	-	
		小動物侵入防止フェンス	-	100,000	-	
	発 生 後	防疫措置の 実施	特定家畜伝染病発生時の初動防疫時に必要な措置の実施(殺処分等)	当初予算 *2	-	-
		検査体制の 強化	・死亡及び調査捕獲イノシシの感染調査 ・検査試薬等の購入	予備費	-	-
農家の 経営支援		移動制限農場への助成(損失相当額) 豚コレラ緊急対策資金利子補給金	予備費 -	- 4,000 債務負担 5,210	-	
計			68,650	158,400	188,300	

*1 ALIC事業：独立行政法人農畜産業振興機構(ALIC)が実施する事業。県を経由せず、国から直接団体等へ事業費が補助されるため、県予算計上不要。

*2 豚コレラに限定せず、鳥インフルエンザ等の特定家畜伝染病の発生時にも使用する経費として当初予算に計上(40,165千円)しているため、計に含めない。

静岡県内における野生イノシシの豚コレラ感染状況調査と
陽性イノシシの発見場所

野生イノシシにおける豚コレラ感染状況調査

- 野生イノシシでウイルス調査をした地点
279検体 (7月28日～10月9日)
(死亡イノシシ及び捕獲イノシシ)
全ての検体で陰性を確認

陽性イノシシ発見場所
(藤枝市岡部町野田沢)

